



長崎大学病院 初期研修 協力病院特集

長崎大学病院の初期研修では、**24**のたすきがけ協力病院で互いの長所を活かし、common disease、プライマリケアから高度先進医療まで幅広く研修できます。そのたすきがけ協力病院で実際に勤務した研修医の先生に、それぞれの病院の魅力等についてコメントをいただきました♪



- 救急研修に強い病院
- 小児・産婦人科プライマリが豊富な病院
- 地域プライマリ研修ができる病院
- 名物指導医のいる病院
- 内科総合研修ができる病院
- 外科系の病院
- アットホームな病院
- アメニティー抜群の病院

・・・いろいろなあなたに合った病院を選択できます！！

♪ 実際に協力病院で研修した先生方からのコメント ♪

長崎市立市民病院

長崎市民病院で一年間研修させていただきましたが、当時研修医は7人（一年目4人、二年目3人）とあまり多くはなく、その分たくさんの症例を持つことができいろいろな疾患及び手技を経験できました。また、輪番病院でもあるため、内科～外科まで多岐に渡る症例を経験できたと思います。

研修医が少ない分、指導医の先生方は一人一人を大切に指導してくださいましたし、スタッフ間の仲も良く、診療科の垣根を越えてとても相談しやすかったです。

やや設備は古い印象でしたが、今後は新病院へと移行していく予定で、さらに充実した病院になると思いますので、大変満足のいく研修ができると思います。



道津 洋介先生（長崎大学卒）

長崎原爆病院

私は学生の頃にどこの科に進むか悩んでいたため、初めの一年は幅広く内科の知識を身につけたいと思い、外病院からのスタートにしました。

原爆病院はとてもアットホームで研修医同士の仲も良く、みんなのおかげでつらいことも乗り越えられたと思っています。輪番当直は私にはきつと感じることもありましたが、今となって考えてみると、とてもいい経験になっていたと思います。私は一年目で皮膚科をローテートしたのがきっかけで、皮膚科



に進むことになったので、研修先の病院というのは将来の進路にも大きく影響してくると思います。原爆病院は、忙しい診療の中でも研修医の声を聞き入れて下さり、熱心に指導をしていただけなのでオススメです。

浅井 幸先生（長崎大学卒）

済生会長崎病院

私は長大病院で研修をすることを決めた時に、新しくなったばかりの済生会病院をたすき掛けで選択しました。



済生会は救急に力を入れており、救急症例を数多く経験することができます。また、院内はきれいで仕事しやすいです。医局に垣根がなく、いろんな先生に相談しやすいのもよいと思います。

あえて問題点をあげるなら研修医が少ない点。同期は多いほうがお互い相談とかできてよかったかな、とは思っています。

中島 潤先生（鹿児島大学卒）

健康保険諫早総合病院

学生時代に実習をした時の印象で諫早総合病院を選びました。学生や研修医に対して、どの指導医の先生方も親切で熱心で、研修医の先生方が生き生きとして楽しそうだったのが理由でした。

実際、充実した研修となりました。一部の科を除いては、ほぼすべての科があるので、あらゆる疾患を経験できます。手技や経験したい疾患など、かなり希望もきいていただきました。また、当直で指導医と一緒に診察、鑑別、検査、治療まですべてを学べます。病院全体の雰囲気もよく、気軽に相談ができる環境です。目標をもてば多くのことを学べる病院であり、充実した研修になると思います。



徳山 鮎子先生（長崎大学卒）

長崎医療センター

医療センターは30年以上スーパーローテートを実践してきた病院であり、上級医だけでなく他科ドクターやコメディカルの方との連携がスムーズで研修医にとってはとても働きやすい環境が整っている病院です。わからないことが多い中で、周りのスタッフが自然と協力してくれます。またドクターヘリをもつ救急救命センターは外傷や熱傷、心筋梗塞など重症症例が多く、大変ですが非常に勉強できます。また同様に症例豊富な総合診療内科や世界に誇る肝臓内科など、プライマリケアから高度先進医療まで研修することができる多くの施設があります。当直業務も研修医がファーストタッチし、検査や診断、処方考えますが、上級医が常にバックアップしてくださり、気軽に相談できる環境となりました。すべての人におすすめできますが、大学で人脈を作りつつ、頭と身体をフルに動かしたい人におすすめです。



中山 裕介先生（愛知医科大学卒）

佐世保市立総合病院

長崎県北部の基幹病院であるため、common disease から頻度の低い疾患まで幅広い症例が多数集まります。診療科も揃っており、他科で研修中に疑問点や方針などで迷った際も、各科の名指導医から専門的なアドバイスや知識を得ることができます。また、研修医の希望に合わせ、一度に複数科をかけもちで研修することも可能です。一カ月間毎の短期研修でも指導医の先生方が熱心にご指導くださり、効果的な研修ができました。また、今年度から始まった英会話教室では、講師が米軍診療所の医師なので、本物の日常臨床現場における生きた英語が学べ

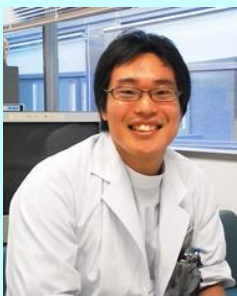


すし、来年度からは米軍診療所での診療研修も始まるようです。研修医室も新しくなり、来年度は救命救急センターが開設するとのことで、より一層有意義な研修生活が送れるはずです！

伊藤 文子先生（長崎大学卒）

五島中央病院

五島中央病院は、「島」の中核病院で、様々な患者さんが集まってきます。実際に研修してみて、メジャー疾患はもちろん、私は大学で学べなかった日本脳炎や結核等の症例も診ることができました。また、当直等をしていると内科なら発熱～CPA、外科なら腰痛から交通外傷まで様々な症例と出会えます。他にも地域のスポーツ大会へメディカルスタッフとして参加したり、福江空港の防災訓練にも参加しました。



指導医の先生は皆優しく（時に厳しく）指導してくれます。また、医局が全科でひとつなのでとてもコンサルトしやすいです（私の席は隣が眼科、耳鼻科。後ろが外科。前に研修医という座席）。

勉強も大事ですが息抜きも必要です。私の休日の過ごし方は、釣り、虫取り、魚取り、ドライブ等。自然豊かなので景色を眺めるだけでも十分癒されます！

吉見 龍二先生（福岡大学卒）

大分県立病院

医師として実際働いてみて出身地大分の医療について知りたいと思ったのと、いつかは地元で働きたいという思いもあり、大分県立病院を選びました。仕事内容は大学病院とあまり変わりなく、受け持ち患者も適度です。大学と違う点はやはり当直があることです。県病の当直は、内科と外科関係なくウォークインから救急車対応のすべての救急外来患者のファーストタッチを研修医2人（一年目と二年目、各1人ずつ）で行います。

また、その指導体制として、内科系と外科系当直が1人ずついて、何事にも相談やアドバイスをしてもらえます。大変ではありますが、とても勉強にもなり実践できます。各科の垣根もありません。さらに、各研修医に電子カルテ用とネット用の2台のPCが支給されます。研修医みんな仲良しで飲み会がよく開催されます。大分大学や九州大学から協力型で来ている研修医も多く、交流の幅も広がります。



小山 正三朗先生（長崎大学卒）

その他、市立大村市民病院、長崎県島原病院、長崎川棚医療センター、佐世保中央病院、長崎労災病院、平戸市民病院、長崎県上五島病院、長崎県対馬いつはら病院、国立佐賀病院、嬉野医療センター、北九州市立八幡病院、北九州総合病院、田川市立病院、山口県立総合医療センター、周南記念病院でも研修できます！

その他、いろいろな情報を当センターのホームページに掲載していますので、是非ご覧ください♪病院見学も随時受け付けています！

お気軽にお問い合わせください！

発行＝長崎大学病院 医療教育開発センター

TEL：095-819-7847 FAX：095-819-7882

MAIL：kaihatu@ml.nagasaki-u.ac.jp

HP：<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/>

BLOG：<http://careerngs.exblog.jp/>

浜松医療センター

浜松医療センターは、救急車の搬送数が浜松一・二位を争うほど多いので、救急研修がしっかりしていて、初期対応・common disease を勉強したい人には最適だと思います。休日の当直の際は、通常二次研修医1名、一次研修医1名、外科・内科医師1名ずつの計4名で、一日約100名の患者さんを診るため、様々な症例を勉強することができました。

また、共同の電子カルテやパソコンを使用したり、食事をしたりできる合同医局があるため、先生どうしの仲が良く、気軽に質問できる雰囲気です。



定方 英作先生（長崎大学卒）